

浜田商業高等学 校令和元年度学校評価(評価結果報告)

評価計画		自己評価		学校関係者評価			
令和元年度 重点目標	具体的目標	具体的取組事項	評価指標	評価	取り組み状況と課題	評価	意見
1 授業や検定試験対策の充実	①わかりやすい授業を展開して、生徒の基礎学力を向上させたか。 ②検定試験対策を適切に実施し、効果を上げたか。	・学び直し教材を有効活用 ・家庭学習定着のための適切な課題や宿題の奨励 ・各種小テストでの基礎学力の向上 ・家庭学習時間調査の確実な実施 ・授業時数の確保と理解不十分な生徒への適切な支援 ・検定の個別受験時の計画的な支援体制の確立 ・高度資格取得への支援体制	評価アンケート 家庭学習時間調査	B	・ICT機器やタブレットの活用を各教科で推進し、生徒の主体的な学習を支援した。 ・教科主任会等での振り返りができなかった。 ・検定対策期間や平日補習、土曜日の学習会などの取り組みで、検定の合格率は上昇傾向である。 ・国家資格にも複数人の合格者を輩出することができた。今後資格取得の必要性を更に意識付けさせ、体制強化を図る。	B	・専門的な知識は時間をかけて身に付けて欲しい。大学への積極的な受験体制の整備も必要ではないか。 ・地域や中学校への学習内容や成果を工夫して伝えて欲しい。
2 主体的に行動できる生徒の育成	①教育の様々な場面を活用して、生徒の主体的な行動を引き出すことができたか。	・授業互見や授業アンケートにより、わかりやすい授業への改善 ・生徒会の主体的活動への支援 ・部活動に対する意識の向上と支援 ・定期的な身だしなみ指導 ・日常的な出会い指導	評価アンケート 出席率 皆勤率 部活動加入率	B	・生徒会が主体的に積極的に取り組むように支援した。 ・これからも学校行事、生徒会活動、部活動の支援に全教職員で取り組む。 ・学園祭等の活気がないこと。 ・部活動の活性化とともに部活動の精選。	B	・中学校との連携を強化して部活動の活性化を図って欲しい。
3 生徒の人権意識の高揚	①人権・同和教育を充実させ、人権意識を高めることができたか。	・生徒意識調査を活用しての実態把握・人権・同和教育LHRの充実 ・差別に対する実践的態度の育成 ・アンケートQUやいじめアンケートの活用 ・全教職員による登校指導	評価アンケート 意識調査	B	・教職員の共通理解のもと、互いの人権意識を育成できるように努めた。 ・人権・同和教育学習のLHRに対する情報提供をすることができた。 ・意識調査や生徒・保護者からの訴えを確認し、すぐいじめ防止委員会を開いて対応した。 ・意識調査の集計に時間がかかり、事後指導への反映が課題である。	B	・挨拶を立ち止まってするように徹底して欲しい。 ・いじめがないような居場所づくりを教職員で更に工夫して欲しい。
4 進路実現の支援	①生徒面談等を通して生徒理解や個に応じた進路支援に努めているか。	・補習、各種模試、小論文指導、面接指導の効果的な実施 ・ハローワーク、支援センター、行政機関、就労・進学先等との連携 ・進路志望調査に基づく企業訪問、求人開拓、学校訪問の推進 ・進路集会、講演会、各種ガイダンスなど適切な情報提供の機会を設ける ・定期的な生徒面談、保護者面談の実施	評価アンケート	B	・マナトレや補習等により、1年次より学力が向上した。目標を持った生徒の成績が国語、数学、英語でかなり向上する結果が出た。 ・3年生は、100%の進路保障することができた。 ・インターシッ プの実施(1年生5日間) ・キャリアパスポートの有効活用が課題である。	B	・DVDなど目で見える図書など生徒が興味関心を引くような工夫を進めて欲しい。 ・教員が変わるとい意識が必要である。 ・県立大学との連携を進めて欲しい。
5 積極的な情報発信	①ホームページを充実させることができたか。	・ホームページのリニューアル ・地域で個別に学校説明会 ・PTA会誌の充実を図る ・部活動交流など日頃からの交流と情報交換 ・Webページによる情報発信 ・「浜商トビックス」の作成・中学校配布(浜田市、江津市) ・生徒募集に繋がる魅力化事業の一環として、浜田市役所や県大との連携・交流	評価アンケート	A	・ホームページを刷新して、生徒、保護者、教職員から好評を得ることができた。 ・PTA会誌の充実や浜商トビックスなど分掌を横断して取り組むことができた。 ・生徒募集に関わることを教務部、総務部、商業部等と協働して取り組むことができた。 ・コンソーシアムや魅力化の情報発信の仕方が課題である。	A	・できるだけ、リアルタイムに地域や保護者等へ発信して欲しい。 ・生徒募集につながるような、情報発信の工夫が必要である。
6 安全指導と危機管理	①適切な安全指導や危機管理を行うことができたか。	・防災避難訓練の実施 ・安全点検の実施 ・救急法研修の実施 ・保健だよりの発行 ・スクールカウンセラーの活用 ・生徒サポート委員会の充実 ・ゴミの減量化	評価アンケート	B	・学期に一度ずつ訓練等を実施し、避難経路を確認、災害による避難場所の確認、防災講話等により危機管理意識を高めるよう努め、成果もあった。 ・安全点検の結果に基づき、危険箇所の修繕など事務部で迅速な対応に努めた。 ・健康観察はクラスの状況把握に大変重要であり、継続して取り組みたい。 ・ゴミの分別、減量化に取り組み前年比14%減量することができた。	B	・デパートをはじめ、学校で地球環境を考えて取り組みを授業等でも実施して欲しい。 ・健康観察などを通じて、より生徒の様子を把握し、健康な学校生活が送れるようにして欲しい。
7 キャリア教育の推進	①キャリア教育について理解を深め、その視点に立った指導を展開してきたか。	・地域行事への積極的参加 ・浜商デパート等の販売実習の充実 ・課題研究の充実 ・地元企業・行政との連携 ・各学年部と連携し、3年間を見通したつながりのある計画へと導く ・浜商デパート学びのマップ作成(各教科内容との関連付け)	評価アンケート	B	・今年度は、各種講演会、ガイダンス等、各学年会のご協力によりスムーズに実施できた。 ・デパートにおける各教科横断的な学びのマップの活用を進め、実社会との関連付けを深める。 ・デパートの販売実習では、昨年よりも売上、来場者数を伸ばすことができた。	B	・多様な進路選択ができるように、進路情報などの確かな提供をして欲しい。 ・面接回数など増やす工夫がみつうではないか、1年生の段階からそうした取り組みをして欲しい。

評価基準 A(できている)=4.0≧3.1 B(だいたいできている)=3.0≧2.6 C(やや不十分である)=2.5≧1.0 D(不十分である)=2.0≧1.0 (4.0満点中)